

Acueil News

令和8年1月号(第143号)
編集・発行
特別養護老人ホームアクイール
広報委員 担当 小林
我孫子市岡発戸1498
☎04-7165-6511

謹賀新年

新年のご挨拶

施設長 渡邊 豊

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年5日に恒例のマグロの「初競り」が行われ、最高値の「二番マグロ」は、青森県大間産の本マグロ5億1030万円(243キロ、1キロあたり210万円)で落札されました。縁起物とはいえ5億円のマグロには、びっくりしました。そして、こちらも新年恒例の大発会では、5万1832円で取引を終えました。景気の良い滑り出しと感じています。

そんなお祝いムードの中で、今年の介護業界は、どのようになるでしょうか？近年の物価高、電気・ガス・食材費・衛生材料費・人件費の上昇の影響により全国ほとんどの病院や特養の運営がひっ迫している現状にあります。診療報酬は2年毎、介護報酬は3年毎に改定が行われていますが、この物価高に追いついていないと感じています。本来、来年が介護報酬改定の年ですが、今年は、臨時で介護報酬の一部改定がされる予定です。少し明るい兆しが見えてきました。とはいえ、介護を取り巻く環境は依然として厳しく、この先、要介護高齢者の数と担い手の数が半比例していくこととなります。また、高齢者の5人に1人が認知症という時代となりました。当法人は、少しでも地域のお役に立てばという思いから、アクイールの敷地に認知症対応型共同生活介護事業所2ユニット(18床)と認知症対応型通所介護事業所(定員12名)の開設準備を行います。

今年の干支は60年に1回の丙午(ひのえうま)です。ひのえうまの年は、情熱やエネルギーに満ちた、大きな変化と飛躍のチャンスがある年と言われています。新しい事業の立ち上げには、うつつつけの年ではないかとポジティブに準備を進めていこうと思います。早いもので、アクイールは開設から12年。干支がひと回りしたところです。日本人の平均寿命から計算すると、干支は7回ほど回ることとなります。そのうちの一回りを、アクイールと共に過ごしてきました。

12歳になったアクイール。今年は、職員が「誇り」を持って働ける職場づくりをしたいと思っています。仕事に「誇り」を持つことは、自分の役割や意味を理解して、成果や貢献に目を向けて、日々の業務に丁寧に取り組む姿勢を指します。「誇り」を胸に働くことで、利用者の快適な生活のお手伝いができればと願い、新年の挨拶とさせていただきます。

お屠蘇

お屠蘇とは・・・

正月に無病息災と長寿を願って飲む薬草酒で「屠(ほぶ)る(邪気を払う)」と「蘇(よみがえる)」に由来し、一年間の邪気を払い、健康で長生きできるようにという願いが込められています。



元日には着物姿の施設長がお屠蘇回りをして新年の御挨拶をしました。



初詣

ここ数年、わおんのご入居者は、将門神社に初詣に行きます。アクイールから車に乗り10分弱で到着。神社は、階段もないため、お賽銭をご自身で入れる事もできます。今年も5円玉(ご縁)を心を込めてお賽銭しました。



毎年恒例 餅つき大会



毎年恒例の餅つき大会を十二月三十日に行いました。餅つきと言えば「末広がり」で縁起がいいとされる二八日に行く事が多いですが、昨年の二八日は日曜日だったという事もあり、デイサービスやキッズルームの子ども達など、より多くの参加者が見込まれる三十日に盛大に行いました。

今年のお鏡餅は 餅の表面がツルツル形も立派で とても評判がよかったです。



子ども達も一生懸命に杵をついてくれました。その様子を見守るご入居者の笑顔が素敵ですね。騒がしくも穏やかな年越しとなりました。

